

2026年3月24日

各 位

碧海信用金庫

株式会社須藤事務所との
「へきしんサステナビリティ・リンク・ローン」の契約締結について

碧海信用金庫（理事長：深谷 誠）は、株式会社須藤事務所（代表取締役：須藤 一彦）と、「へきしんサステナビリティ・リンク・ローン（以下：へきしんSLL）」の契約を締結いたしましたので、お知らせします。

本商品を通じてお客さまの脱炭素経営に係る取り組みをご支援することで、お客さまと共に持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。

記

1. 「へきしんSLL」について

本商品は、お客さまがサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPTs）として設定したCO₂排出量削減率に関する挑戦目標の達成状況と融資条件が連動し、目標達成時には金利の引き下げを行う融資商品です。

信金中央金庫の組成サポートを活用し、当金庫が策定した本フレームワークは、国際的な原則やガイドラインに適合していることを、株式会社格付投資情報センター（R&I）より第三者評価を受けております。

2. 契約締結先

会 社 名：株式会社須藤事務所

所 在 地：豊田市土橋町4丁目67番地

代 表 者：須藤 一彦

事業内容：土地境界測量/登記/建物登記/官公庁への各種申請

3. 契約内容

実 行 日：2026年3月6日

期 間：5年

融資金額：非公表

以 上

株式会社須藤事務所 サステナビリティ・リンク・ローン概要

【株式会社須藤事務所の概要】

 須藤事務所
office Sudou
代表取締役 須藤一彦
<http://www.sudou.net>



当社は、土地境界測量・登記・建物登記・官公庁への各種申請等を営んでいる。弁護士、司法書士、行政書士、税理士等との連携があり、多方面の専門家からのアドバイスが受けられる体制が構築されている。

《略歴》

- 1982年8月 須藤測量登記事務所 開業
- 1986年1月 社団法人愛知県公共嘱託登記土地家屋調査士協会 入社
- 2003年4月 社団法人愛知県測量設計業協会 入会
- 2004年4月 社団法人日本国土調査測量協会 入会
- 2006年10月 民間紛争解決手続代理関係業務を行う、認定調査士登録
- 2014年11月 愛知県行政書士会 入会（須藤・高木合同事務所）

《業務内容》

—土地に関して—

- ・土地の登記
- ・土地の各種手続き
- ・土地のGPS測量

—建物に関して—

- ・建物の登記
- ・建物の各種手続き

—官公庁への申請代理業務—

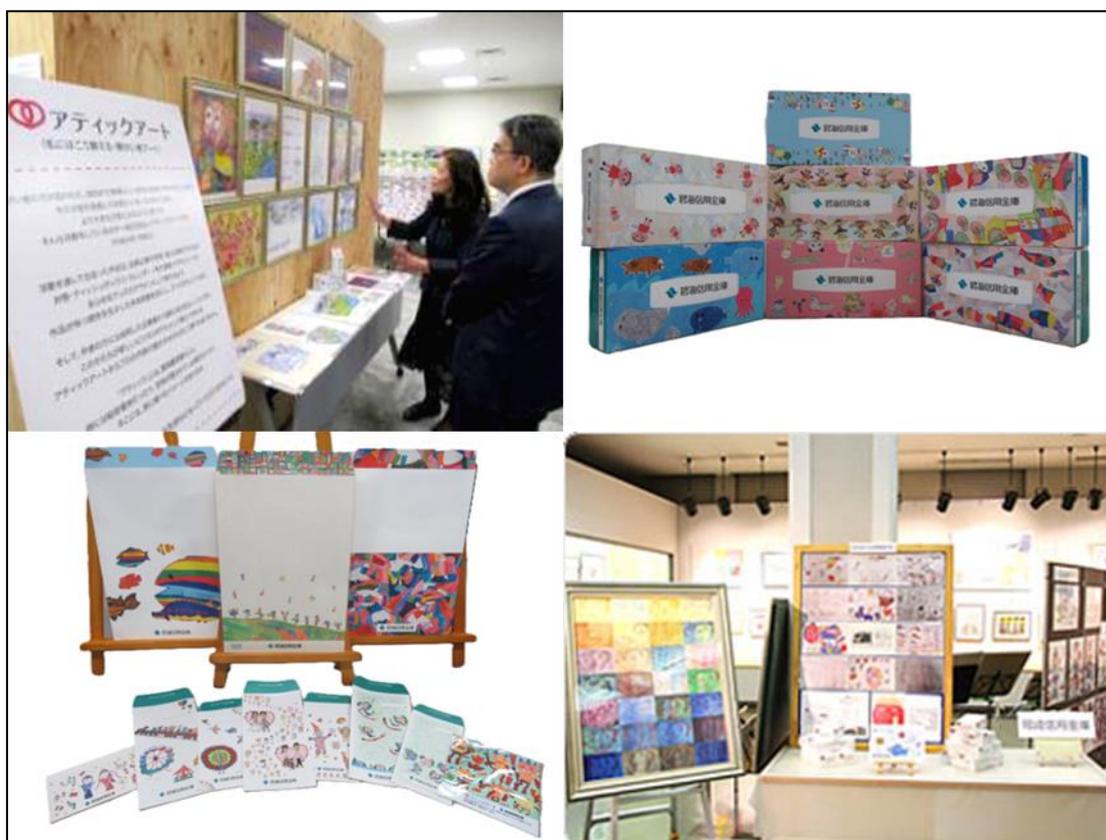
- ・遺言、相続
- ・契約書作成
- ・土地活用
- ・内容証明
- ・入札参加資格審査の申請
- ・国際
- ・農地開発

<当社のサステナビリティ>

【アティックアート支援】

当社の専務取締役である須藤伸枝氏は一般社団法人アティックアートの理事長を務め、障がい者支援に力を入れている。当社もアティックアート事業に正会員として参加している。

一般社団法人アティックアートは、埋もれている才能のある障がい者・児のすばらしいアートを発掘し、展示物、印刷物として利用されることで、世間の目に触れるよう支援をしている。



(アティックアート HP より)

当社は、アティックアート事業を通じて社会貢献活動を推進している。今後は、S L Lを通じて脱炭素経営を推進し、環境面でも地域社会に貢献していく。

【サステナビリティ・リンク・ローンのサマリ】

- ・設定したKPIは当社におけるCO₂排出量（Scope1、Scope2）の削減率。
- ・設定したSPTsは2025年3月31日（2024年度）を基準日とする対比により、2031年3月31日（2030年度）にCO₂排出量の削減率16.2%を達成する。
- ・基準日以降、毎年次にCO₂排出量の削減率を公表し、初回判定は2027年3月31日（2026年度）に行う。

SPTsの目標値					
基準日	2025/3/31	基準日時点排出量（単位：t-CO ₂ ）			35.1
基準日以降各年次	2027/3/31	2028/3/31	2029/3/31	2030/3/31	2031/3/31
基準日比削減率	3.2%	6.4%	9.6%	12.9%	16.2%
基準日以降各年次					
基準日比削減率					

【SPTsの野心性】

- ・当社はScope1、Scope2削減において、2030年度までの国内目標を上回る水準のCO₂排出量の削減計画を策定している。
- ・地域の同業他社等への広がりが可能な取り組みであり、地域の持続可能性を向上させることが期待される。

【SPTs達成手段】

- ・Scope1については、環境負荷の低減やコスト削減を図るため、社用車のEV化を検討していく。
- ・Scope2についてはLED照明の導入を進めていく。また、社員教育を通じて省エネを推進していく。
- ・Scope3についても、将来的には算定・削減を検討していく。

【SPTsの妥当性】

- ・当社から開示を受けた各種資料のほか、当社との対話によるSPTsの妥当性について検証した結果、当社の計画はへきしんSLLのCO₂排出量削減率の基準を満たすものと判断できる。

以上